実践発表 No.21

宇都宮大学 HANDSプロジェクトの試み

第１期（H22～24 度）
「グローバル化社会に対応する人材養成と地域貢献（多文化共生社会実現に向けた外国人児童生徒教育・グローバル教育の推進）」
第２期（H25～27 度）
「北関東を対象とした外国人児童生徒支援のための地域連携事業」
※このポスターは、第２期（H25～27 度）チラシを拡大したものです。

宇都宮大学国際学部・若林秀樹

H A N D S プロジェクト

宇都宮大学HANDSプロジェクト

文部科学省特別経費プロジェクト
北関東を対象とした外国人児童生徒支援のための地域連携事業

国際化する地域で問われる外国人児童生徒教育
～国際学部と教育学部が連携して取り組む特色あるプロジェクト

教委と学校管理職が１カ所に集まり協議「校長も悩んでる」県内の意識が向上

支援の基盤づくり
『外国人児童生徒教育推進協議会』

外国につながる子どもの支援に関する学校現場の共通理解や体制作りを目的として運営されています。構成メンバー は県教委の当該担当者、外国につながる児童生徒が多く就学する9市1町（宇都宮市、小山市、真岡市、佐野市、大田原市、足利市、栃木市、那須塩原市、鹿沼市、壬生町）の小中学校長の代表と、教育委員会の当該担当者です。学校管理者の視点で、外国につながる子どもの教育についてこのように全県的な話し合いがされるのは、全国的に見てもほとんど例がありません。

国際教室担当者が１カ所に集まり協議
★若手教員＋経験者＝かけ算的効果発揮

支援者の体力づくり
『外国人児童生徒支援会議』

毎年、県内およそ40の小中学校が「外国人児童生徒教育拠点校」に指定され、担当教員が配置されていますが、担当者の多くは外国につながる子どもの教育経験が少ないことや、現場に対応するための研修制度が十分でないという実態があります。外国人児童生徒支援会議は、経験豊かなベテランのスキルを共有すると同時に、共通の課題について理解を深める相互研修の場として年3回開催されています。その成果を「拠点校」と呼ばれる、担当教員のいない学校での支援に活用することも目的としています。

ホームページの運営
常時情報共有が可能
全国の支援者と交流
多言語情報の発信

幅広いネットワーク作り
『だいじょうぶnet.』

外国につながる子どもを支援するすべての人が情報を交換し相互に研修できる場を目的としたホームページ「だいじょうぶnet.」を開設しました。外国につながる子どもの教育に関する疑問や悩みを問い合わせフォームから送信すれば、経験豊かな指導者によって回答するという画期的な取り組みもしています。そのほか資料ダウンロードページからは「教員必携 外国につながる子どもの教育Q&A・翻訳資料」の資料などがダウンロードできます。

外国につながる子どもの進路を見つめ、未来を探る
『外国人生徒の小学校卒業後の進路状況調査』

栃木県内すべての教育委員会と対象生徒が在籍する中学校の協力を得ながら、栃木県における外国人生徒の進路状況を把握するための調査を行っています。第1回目の調査（平成23年3月）では141名分、第2回目（平成24年1月）では128名分、第3回目（平成25年3月）では123名分、第4回目（平成26年3月）では119名分の回答が得られ、511名の卒業生の進路を把握しました。対象生徒の属性、進路希望、受検方法、進路結果等を多角的に分析し実態の把握に努め本調査結果を教育関係者等に広く公表し、外国につながる生徒のよい将来を見つめています。

人と人との関わりが支える
HANDS
（ハンズ）
HANDSプロジェクトは、外国につながる子どもの教育を通して、地域社会における支援体制モデルを提案します。

地域への発信と相互交流
『フォーラム』の開催

HANDSプロジェクトは、毎年フォーラムを開催し研究と支援の成果を報告するとともに、地域の幅広い層の方々から意見を伺い活動に生かしています。これまでのフォーラムでは、栃木県内の外国につながる子どもの教育に関する調査研究や事業の報告を行い、栃木県の現状に即した支援の提供を模索してきました。これからは、北関東をも視野に入れて、外国につながる子どもの教育に関わるより多くの指導者や支援者等が一緒に集う場として「フォーラム」を開催していきます。

進路調査の実施
（対県内全公立中）
栃木県6回
群馬県2回
茨城県1回を実施

キャリア形成の支援
『多言語による高校進学ガイダンス』

外国人の多くが日本に長く住み続けるようになり、日本の高校への進学を希望する外国人生徒が増加しています。学習支援の充実が要求されるのはもちろん、教育や入試制度について早いうちから正確な情報を供給することも重要です。HANDSプロジェクトでは外国につながる子どもと保護者のための、多言語による高校進学ガイダンスを開催しています。日本語の習得や各教科の学習に要する期間を考えると、多言語による進学ガイダンスへの参加は、小学校中学年から必要であるとHANDSプロジェクトでは考えています。

進学ガイダンス
栃木県内4カ所
同時通訳（８言語）
開催地教委と共催

支援の場と直接つながる
『外国人児童生徒支援のための学生ボランティア派遣』

外国につながる子どもを支援したい学生の力を、学校現場に生かします。県内の小中学校から寄せられる外国につながる子どもの支援要請に対し、登録のうえ研修を受けたやる気満々の学生たちを直接派遣します。支援内容は日本語指導から教科学習の補助、生活適応に関することまで様々です。外国につながる子どもと一対一で対応し、子どもたちの自信を少しでも和らげることが出来ればと願うと同時に、派遣に赴く学生にとっては新たな分野での経験が自身のキャリア形成に大いに役立つことでしょう。

ボランティア派遣
学生の「やる気」を
外国につながる子ど
もの「やる気」に！

未来の人材を育てる
『グローバル化と外国人児童生徒教育』

将来の教育現場を担う学生たちおよび国際的な視点や感覚をもって地域社会で活躍する学生たちのために「グローバル化と外国人児童生徒教育」という授業を立ち上げました。外国につながる子どもへの支援について学習しておくことは、今後、教員として学校に赴任する者を含め学生たちにとって大きな意義があります。専門分野の異なる７人の教員がオムニバスで行う授業は、受講した学生からもたくさんの反響が寄せられています。

学生向け授業の実施
教員養成の一環
少数派への理解
多様な価値観を知る

教員向け手引き書「外国人子ども支援は特別では無く教員なら誰でも出来る」

『教員必携 外国につながる子どもの教育』シリーズ

小中学校で外国につながる子どもの支援に当たる教職員にとって、学習支援、生活適応から進路指導に至るまで疑問や悩みはつきません。本シリーズは、そのような教職員を応援する指導の手引です。現場の先生方との情報・意見交換をベースに、「使いやすさ」を第一に考えて作成しています。

「HANDS next」

HANDSプロジェクトが年3回発行しているニュースレターです。HANDSプロジェクト事業の報告やスタッフによる関連記事、行事の案内などを収録し、栃木県内の全小中高等学校や教育委員会、自治体の国際交流協会などに配布しています。これからもHANDSプロジェクトの成果や地域に即した情報を発信し続けます。

『中学教科単語帳』シリーズ

外国につながる子どもたちの学習活動では、学習言語の習得が大きな課題です。本シリーズは、教科書に出ている学習言語を翻訳する辞書で、小中学校での自主的な学習活動を支援し、進路に向けた目標づくりの手助けをします。平成26年度までに、タイ語版・スペイン語版・ポルトガル語版・フィリピン語版・中国語版を刊行しました。今後も、さらに多言語版の作成を予定しております。

学習言語を母語提供
学びたい子どもへの
直接的な支援教材
（６カ国語作成）

宇都宮大学HANDSプロジェクト事務局　028－649－5196
「だいじょうぶnet」http://www.djb.utsunomiya-u.ac.jp/

プロジェクト

◎ 子どもに接する人たちとつながって・・・
制度では無く「人を変える」ことに挑戦した！！

△本来取り組むべき人（行政、学校、教員）に・・・
確実にバトンを渡すことが出来たのか？